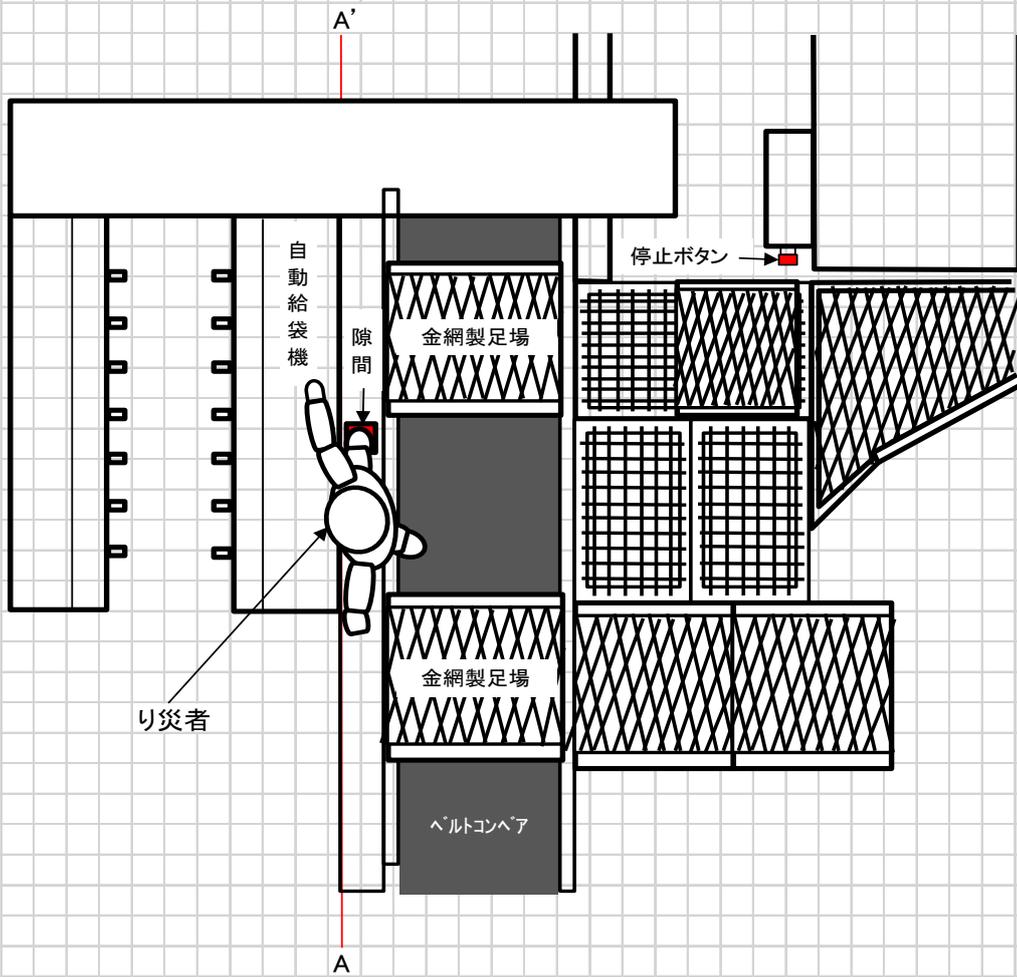


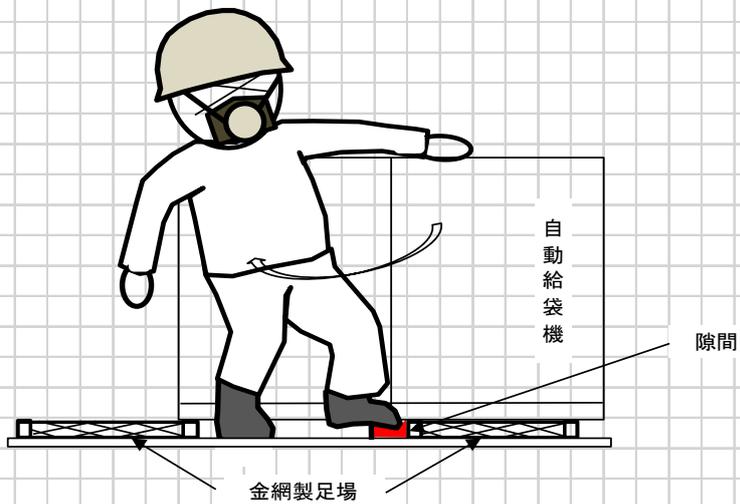
災害等情報（詳報）

鉱種：石灰石	鉱山の所在地：福岡県					
災害等の種類： 坑外・転倒	発生日時： 平成29年12月28日（木） 11時00分頃	罹災者数	死	重	軽	計
				1		1
罹災者 年齢、職種、直轄・請負の別、勤続年数、うち担当職経験年数： 51歳、工場（砕鉱場）作業員、直轄、勤続年数及び担当職経験年数：11年						
罹災程度：左上肢脊髄不全麻痺、頸椎脊髄神経根損傷 (約3か月の安静加療)						
<p><b>【概要】</b></p> <p>平成29年12月28日の11時00分頃、砕鉱場内の袋詰作業ラインの自動給袋機において、作業員A（罹災者）は、紙袋搬送部の中に紙袋が落ちないように袋の耳部を直す作業をしていた。その作業中、足元にあった隙間（大きさは約10cm×10cm）に左足をとられバランスを崩し、さらに右足を足場から踏み外したことから、自動給袋機側面に背中を強打し罹災した。</p> <p>通常作業時には2枚の可動式の金網製足場を並べているところ、災害当日は、年末の清掃準備のために、罹災者が1枚移動させていたため、足場が狭くなっていた。</p>						
<p><b>【原因】</b></p> <p>○通常、金網製足場を2枚並べて作業を行うところ、作業員が足場の1つを移動させたため、足場が狭い状態で作業を行ったこと。</p>						
<p><b>【対策】</b></p> <p>○可動式の金網製足場を鉄板に変え、これをベルトコンベア上にはめ込み、足場を広く安定させる。併せて周辺作業箇所も拡張する。また、足をとられた隙間部は鉄板を溶接し塞ぐ。</p> <p>○給袋のセット作業について「作業手順」で明確にする。</p> <p>○巡視記録の整備を行い、巡視結果を分かりやすくするため様式を見直すとともに、リスクアセスメントを積極的に実施する。</p>						
<p><b>【参考情報等】</b></p> <p>・関係条文；鉱山保安法 第5条、施行規則第12条</p>						
<p><b>【お問い合わせ先】</b></p> <p>九州産業保安監督部 鉱山保安課 松寄、栗原 電話番号：092-482-5931</p>						

# 平面図



# 断面図(A-A')





自動給袋機

足場



隙間

足場

ベルトコンベア脇のカバーの隙間に取られた左足（再現）



バランスを崩して背中を自動給袋機に強打した罹災者（再現）



本来の作業用足場の設置状況（2枚を隣接して設置）  
※災害時は2枚を離して設置